

中間研究集会のご案内

現在、日韓関係が戦後、最悪と言われ、政治・経済をはじめ地域交流や教育にも悪影響を及ぼしています。書店には「嫌韓本」が山積みになっています。私たちはなぜ韓国にいらだつのでしょうか。中間研究集会の1日目の講演は、こじれた日韓関係を解説していただきます。実践報告は4本用意しました。どのレポートも充実した内容です。ご参加下さい。

2020年1月5日（日）午後1時40分

講演 澤田克己氏（毎日新聞外信部長）

**「私たちはなぜ韓国にいらだつのか
～日韓関係の構造的変化を知る必要性～」**

第1日目 2020年1月5日（日）午後3時50分～

実践報告

- ① 日達綾（神奈川県立高校）
「性暴力を高校生と考える」

第2日目 2020年1月6日（月）午前9時30分～

実践報告

- ① 武藤章（東京私立高校）
「中学校『総合』を創る～私の出会った3つの奇跡について～」
- ② 山崎裕康（東京都立高校）
「多数決をどう教えるか」
- ③ 山田一貴（埼玉県立高校）
「生徒が調べ、考えるエネルギーのベストミックス」

* 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟
小田急線参宮橋駅徒歩7分 千代田線代々木公園駅徒歩10分

* 参加費 2000円（1日のみ1000円）
大学生・院生1000円（1日のみ500円）

* 第1日目の終了後に懇親会があります。懇親会は予約をお願いします。

* 第2日目の終了後に全国・常任委員会があります。

* 参加申し込み先 菅澤康雄 sugasawaya@jcom.home.ne.jp